

9月4日(月)

神の存在

聖書朗読 出エジプト 33:1~6, 12~17

もし、あなたご自身がいっしょにおいでにならないなら、私たちをここから上らせないでください。私とあなたの民とが、あなたのお心にかなっていることは、いったい何によって知られるのでしょうか。それは、あなたが私たちといっしょにおいでになって、私とあなたの民が、地上のすべての民と区別されることによるのではないのでしょうか。 出エジプト 33:15~16

大学時代、夫と交際していた時には、午後の時間を彼の部屋で過ごし、門限が近くなると、ルームメイトと住んでいる自分の部屋に帰っていました。恋人と多くの時間を過ごしてはいましたが、間違いなく、私は他人と生活していたのです。しかし、結婚後には一変し、同じ家に住んでいるのですから、互いの存在を覚えながら、夫となった人と大半の時間を過ごしています。婚約から結婚へと至る変化の時期にあつて、恋人と過ごす時間が増えたことが一番嬉しいことでした。そして今も、夫と共にある時間はかけがえのないものなのです。

金の子牛像を礼拝するという過ちを犯したイスラエルの民に対して、神は彼らのもとを去ることを望まれました。しかし、モーセは主に共にいてくださるよう懇願したのです。神が共にいてくださったからこそ、イスラエルの民は全ての民と区別され、神の存在を中心に覚えながら、日々の生活を覚えることができたのです。神が共にいてくださることはかけがえのないものだったのです。

今の時代にあつても、神が私たちと共にいてくださることはかけがえのないものなのです。あらゆる祈り、讃美、御言葉を通して、私たちは、神が永遠に雄々しく私たちと共にいてくださることを覚えることができるのです。神が私たちと共にいてくださるこの世界は何と素晴らしいことでしょうか。

讃美歌 405

祈り 父なる神様。日々の生活のうちにあなた様が共にいてくださることに感謝申し上げます。どうか私たちが主と共にあるあらゆる時間をもっと大事に覚えることができますようにお導きください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

マーシー・ジョンソン
テネシー州 メンフィス

今日の方

2017年9月4日~9月10日

翻訳 小出友紀

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

9月5日(火)

サムソンと等しく愚かな私たち

聖書朗読 士師記 16:10~22

なぜあなたは、兄弟の目の中のちりに目をつけるが、自分の目の中の梁には気がつかないのですか。 マタイ 7:3

まず間違いなく、サムソンほどに愚かな人間はいないでしょう。こんな馬鹿な人間がいるのでしょうか？ 女性に騙されて、なぜ、重要な秘密を喋ってしまったのでしょうか？

サムソンを非難することは簡単なことですが、私たちにも同じ誘惑に繰り返し陥る罪があることを認めることには痛みを伴います。サムソンには女性という弱みがありました。私たちには私たちの弱みがあり、その弱みに左右され、罪のうちにあります。私たちは、ねじ曲がった理屈や左右されるべきではないよこしまな考えに耳を傾けています。

問題はサムソンがデリラに秘密を打ち明けた夜よりも以前に始まっていました。力において弱くなるよりも以前に、霊的にも、精神的にも弱くなっていたのです。その三つのことは、サムソンが選んだことの結果なのです。サムソンは罪を犯し、罪のうちに留まり続けたので、主は彼から去られたのです(士師記16:20)。

私たちは讃美します。「屈するなかれ、試みに屈せばついに罪とならん。隙を狙う敵あればいよよ上げ、御助けを。日々祈りもて主に請い奉れ、汝が力なる主の助けを」(新聖歌444)。この真実を裏側から考えたことがありますか？ 私たちの敗北は更なる敗北に繋がり、一旦、私たちが自らの誘惑に身を委ねれば、次には、更に騙されやすくなるのです。

罪は、正しい判断を失わせます。今日、善に妥協し過ぎて甘くなれば、明日は考えが麻痺します。気を抜いてはなりません。

讃美歌 新聖歌 444 「屈するなかれ」

祈り 聖なる神様。私たちは罪のうちにあり、ゆえに弱きにあることを御前に告白いたします。あなた様は御子の十字架の犠牲により、罪に定められた私たちを救い、洗い清めてくださいました。そのことに感謝申し上げます。また、あなた様の素晴らしい贈り物である御霊により、私たちを罪の誘惑から救い出してくださいますようお願い申し上げます。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

セイヤー・ソールズベリー
オハイオ州 トレド

9月6日(水)

約束を守る力

聖書朗読 Iサムエル 1:9~20

人がもし、主に誓願をし、あるいは、物断ちをしようと誓いをするなら、そのことばを破ってはならない。 民数記 30:2

父と共に生活した日々のうちに、父から数えきれないアドバイスを受けました。私が苦しい時にあって、進むべき道を探している時、父の素晴らしい知恵が私の心に授けられました。父は、「人間は言った言葉を守って初めて信頼される」と、繰り返し、私に教えてくれました。

ハンナは、神様に対して、人生を一変させる約束をしました。そして、それを守り抜いたのです。子どもが与えられない苦しみの日々のうちに、ハンナは、周囲の無理解と、夫を、子どもが与えられた女性と分かち合わねばならない苦しみのうちにありました。悲しみの最中にあってハンナは、涙のうちに、約束を果たされる神様を呼び求めました。

誠実な方であられる神様は、ハンナに応え、約束をくださったのです。ハンナは約束を守り抜くことができました。それは、彼女が、神様にご自身のお約束を決してたがえない真実の御方であることを知っていたからです。

神様のお約束を信じている私たちは、同じように、自身の言葉に誠実でなければなりません。神様が、ご自身がなされたお約束を守るということをお示しくださったように、私たちも自らがした大切な約束を守る力を示す機会を求めます。あなたが神様を信じるように、あなた自身が他者から信じてもらえるようになりなさい。

讃美歌 338

祈り 愛する神様。御前に大切な約束をすることばかり願うのではなく、あなた様の御力のうちに、その約束を守り抜く大切さを知ることができますようにお導きください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ランディ・ロバート

ニューメキシコ州 グラント

9月7日 (木)

神の御力

聖書朗読 Iサムエル 17:38~50

悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

ローマ 12:21

ダビデがペリシテ人との戦いに赴く前に、サウルは、武具を与えてダビデを助けようと考えましたが、ダビデは、地上の武具の力にすぎるよりも、神様の御力に全幅の信頼を置いていました。

私たちは、何か問題が起きると、「どうしたらよいだろうか?」と悩み神様に信頼するよりも、この地上の力で何とかしようとするのではないのでしょうか? ダビデは、この戦いは主の戦いだと言いました。小さなダビデは、巨大なペリシテ人、ゴリヤテに向かって叫び、剣や槍ではなく、石投げと小さな石を手に、素早く戦場を走って行き、ペリシテ人に立ち向かったのです。主の御力に全幅の信頼を置いているダビデは、彼のうちに主の御救いの力が備わっていることをペリシテ人に告げ、『この戦いは主の戦いだ。』(47, 48節)と言ったのです。

私たちは、面倒なことが近づくと、逃げだすのか、それとも、ダビデのように神様の御力と共に立ち向かうのでしょうか? ダビデは、「その日、主がペリシテ人を彼の手に渡される」ことを確信していました(46節)。ペリシテ人が、立ち上がり、ダビデを迎え撃とうと近づいて来た時、ダビデも素早く走って行き、ペリシテ人に立ち向かったのです。結果、彼は勝者となったのです。私たちも、困難にあって、目の前の敵よりもはるかに力強い神の御力に拠り頼み、勇敢に立ち向かいましょう。

讃美歌 第二編 167

祈り 愛する神様。困難のうちにあって、自らの力だけで戦おうとするのではなく、あなた様の御力に拠り頼むことができますように、お導きください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ゲイネル・トーマス

ニューメキシコ州 ポルターレス

9月8日 (金)

主を誇るときに信仰は培われる

聖書朗読 II列王記 4:8~17

私のたましいは主を誇る。貧しい者はそれを聞いて喜ぶ。

詩篇 34:2

数十年前に、母親が私に、今日の聖書の箇所にあるエリシャとシュネムの女の物語を読んでくれたことがあります。その時、私は、エリシャの小さな部屋を描いた挿絵の中にベッド、机、椅子や燭台を探したことを覚えています。

シュネムの女のもてなしに感謝したエリシャが、使者を遣わし、公的な力によって彼女に謝意を示そうと申し出ましたが、彼女は、しあわせに暮らしており、満足していると答えました。使者は、彼女には子どもがおらず、夫は年をとっており、おそらく子どもを欲しいと思っているのではないかとエリシャに伝えました。神様は、彼女が息子を願っていることを理解しておられましたから、エリシャは、彼女に息子が与えられることを預言しました。しかし、彼女は、本当に与えられるのでない限り、少しの希望も与えないでくださいと懇願しました。神様は、長く子どもが与えられなかったサラ、リベカ、ラケル、ハンナに息子を授けてくださったのです。シュネムの女は、主の成されてこられたこれらの業を誇り、自身を平安のうちに置くことができたはずでした。

パウロはコリントの教会にあてて、繰り返し、「誇る者は、主を誇りなさい」(Iコリント1:31, IIコリント10:17)と記しています。全ての者は、神様が彼を信じる民のために働かれたこと、そして今も働いておられることを覚える必要があります。私たちが、心のうちに、否定的な思いを抱くとき、私たちの信仰、神様への願いと神様の働きの業の証人である私たちの働きは弱められます。逆に言えば、聞くことを望んでいる者や私たち自身に対して主を誇ることは、神様の更なる祝福に繋がります。

讃美歌 516

祈り 主なる神様。私の導きに聖書の真実の物語を用いてくださいますこと感謝申し上げます。どうか、あなたさまの働きをはっきりとわかることができますように、あなた様が今も働いておられること告げ知られるに熱心になれますように。主を必要としておられる人々に私を遣わしてください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

リネット・カルナハン・グレイ

テネシー州 ロックフォード

9月9日(土)

小さなことで十分なのです

聖書朗読 II列王記 5:1~14

イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなた方に告げます。もし、からし種ほどの信仰があったら、この山に、『ここからあそこに移れ』と言えば移るのです。どんなことでもあなたがたにできないことはありません。」

マタイ 17:20

経済的な苦しさや、健康の問題のために、奉仕できることが少なく、罪の意識にさいなまれたことはないでしょうか。「わたしなどに、他者の助けになることができるのだろうか？」と悩まなかったでしょうか？

今日の聖書の箇所にある、若いイスラエルの娘は、奴隷という低い地位にあり、自身は何の財産も持ってはいませんでした。病に悩んでいる主人に仕え、彼女ができることをしました。彼女は、主人に彼を助けられるかもしれない人について教えました。結果、彼女の小さな行いは、この主人には、生と死を分かつほどの大きな意味があったのです。

私たちが奉仕にあつて主の御力に委ねるとき、小さなことで十分なのです。できることだけをなさい。そして、主がそれを素晴らしい方法で用いてくださることを信じなさい。私たちの理解をはるかにこえて、神様は、あなたが今日した奉仕を何倍にも増してくださるのです。

とても小さな鍵が大きな幸せの扉を開く

—— チャールズ・ディケンズ

讃美歌 391

祈り 主よ。あなた様が私に与えてくださっているものを用いて、他者のために奉仕することができますようにお助けください。主はそれを思いもよらぬ方法で多く用いてくださることを覚えさせてください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ジャン・ノックス

テキサス州 グランベリー

9月10日(日)

高価なものは包みが小さい

聖書朗読 II歴代誌 34:1~15

年が若いからといって、だれにも軽く見られないようにしなさい。かえって、ことばにも、態度にも、愛にも、信仰にも純潔にも信者の模範となりなさい。あなたのうちにある聖霊の賜物を軽んじてはいけません。 Iテモテ 4:12, 14

ダビデ王以来の信仰あつきユダの王であるヨシヤのように、霊的な賜物を授けられた子どもが周囲にいますか？ ヨシヤが8歳にして神から与えられた素晴らしい能力によって既に抜きん出たように、子どもながらに、優れた洞察力に驚嘆したようなことはありますか？ あなたの影響が及ぶ周囲にそうした子どもがいるなら、もっと良いのは、見ているだけでなく、その子に与えられた賜物を伸ばしてあげなさい。

あなたが注目しているその子どもは、ヨシヤのように王位につくことはないでしょうが、将来、神の民を神様のもとに立ち返らせる善き助け手となるかもしれません。政治、教育、ビジネスの指導者たちは、昔は誰も子どもであったのです。主に倣う私たちが成すべきことは、神様が生まれながらにして豊かな賜物を与えた子ども達を見つけ、彼らが成長し、頂きへののぼりつめたときに、指導者として備えられるだけではなく、人々、会社や国家を神様のもとに立ち返らせるための備えられた器として働けるよう訓練し、導いてあげることなのです。

そうしたヨシヤのような子どもを知っていますか？ もしそうであれば、神のご計画を覚え、着き従うことができるように、その子を励ましてあげなさい。

讃美歌 467

祈り 父なる神様。全ての子どもは、祝福され、あなたの御国を発展させる素晴らしい賜物が与えられています。一方で、あなた様の格別のご計画のうちに用いられる賜物が与えられた子どももおります。どうか私たちが子ども達を励まし、主が彼らの上に定められた人生を正しく歩むことができますように、私達を用いてください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

カイ・バーナム・エヴァンス

テキサス州 ラボック